

かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

#40 令和3年1月29日 新型コロナウイルスワクチン接種会場運営訓練を実施しました

1月29日かわさきコロナ情報をお伝えします。

今日のテーマは、一昨日の1月27日に行われました新型コロナのワクチン接種訓練、集団接種の訓練を行いましたけれども、皆さんテレビなどでも御覧になった方多いと思います。そもそもなぜ川崎市でやったのっていう質問よく聞かれるんですけども、それは4年前にコロナではなく新型インフルエンザの流行を見据えて、これも全国に先駆けて新型インフルエンザの接種訓練をやったことがあります。そういった経験ですとか、市立の看護短期大学の学長をしています坂元医務監が国の予防接種の基本方針を決める部会の委員であったり、あるいはこのコロナ情報でも何度も登場していますけれども、健康安全研究所の岡部所長が内閣官房参与で国のコロナ対策に深く関与している。こういった御縁もあって川崎を会場にしてやることになりました。

大きな目的は、この接種の一連の流れというのを確認して、それを動画でしっかりと映像で押さえてそれを全国の自治体に国を通じてお配りする。そのことで、全国の自治体が安全かつ適切にこのワクチンを取り扱うことができるように、そういった目的で行われたものでございます。

是非今日は訓練の様子を一部御覧いただければと思います。

それでは御覧ください。

動画

=====

<受付の様子>

身分証をお願いします。

クーポンをお返しします。

こちら(予診票)の御記入をあちらの席をお願いします。

体温を測るときはこちらの体温計をお願いします。

(健康安全研究所 岡部所長)

新型インフルエンザがきたときに、もしかするとワクチンの集団接種をやるかもしれないということで、シナリオを作ったり、川崎の場合はその訓練も既にやってるんですね。ですから、同じようにはいかないけれども、違う病気と違うワクチンを使ったときにどういうふうになるだろうかっていうのはやっぱり実際にやってみないといけないので、その訓練が今回できたということになります。訓練なので、シナリオどおりにいかどうかっていうのは、これはまだあとで皆で話し合いをするわけですけども、そうやってより良いものに変えていくということが大切だと思うんですね。

<接種の様子>

消毒からしていきますね。

チクッとしますね。

しびれはないですか。

—大丈夫です。

絆創膏で留めます。以上になります。気分が変わりはないですか。

—はい。

(健康増進課担当課長〔保健師〕)

今日は接種のところが担当させていただきました。普段の業務では集団の方に向けて予防接種をするという機会があまりないので、かなり緊張しながら実施させていただきました。

今日エキストラの方に御協力いただいて、実際と同じような場面で訓練することができましたので、かなりイメージが付きやすかったと思います。今までに行っていた集団の予防接種プラス場所の感染予防も重要なので、両方気を配りながら実施していければいいなと思っています。

(感染症対策課担当課長)

集団接種会場の運営というのを実際に試してみるという意味合いで言えば、達成できたのかなと思っております。大体時間あたりどれぐらいの対象者の方を対応できるのかであったり、あるいはその予診であったりするところで、人が滞留しやすいということも分かりましたので、本番に向けてはこういった課題をまた調整しながら接種体制を講じていけたらと考えています。

(健康安全研究所 岡部所長)

細かい点で、例えば並び方であるとか、パーテーションの位置であるとか、あるいはもしかすると予診のところをもうちょっと増やした方がいいのか、あるいは省略できるのかとか、実際に担当した方の声を聞きながらより良いものにしていくことは必要だと思います。例えば体育館の全体の大きさとか、用意しているものでもそんなに特別なものをやっているわけではないので、いろんな自治体が自分のところを作るときの参考にしていただければいいなと思います。

今のところは、日本は承認が遅れてスタートが遅れたというようなことも聞いたりするんですけども、逆にそのために外国のデータとかも入ってきているわけです。それから、日本でも治験をやっているのが現在それ吟味中なんですね、専門家によって。ですから、そういうのを見てどのぐらいの割合で、例えば痛みが出るとか腫れが出るとか、でもそれは我慢していれば治るとか、あるいはアナフィラキシーショックがどのぐらいの割合で出そうなものかということ、ちゃんと分かっている範囲でオープンにして、ワクチンというのは残念ながら 100.00%、10 万人、100 万人接種しても誰も何ともないということ、はちょっとありえないので、想定としてはそういうときにどう対処しようかっていうのはやっておかないといけないと思います。

ワクチンを受けるっていうだけでドキドキするとは思いますが、落ち着いておいでいただきたいのと、そういう情報も市としても国としても透明性のデータをちゃんと示しながら説明をします。

今すごく期待をしたり、今ものすごく不安だという段階ではないと思うんですね。それから時期や何かについても準備の方だけではなくて、実際にワクチンの入ってくる量であるとか輸入される量であるとかいろんなことで決めなきゃいけないので、何月何日からどのぐらいスタートして、何パーセントの有効性がある、これこれの人がアナフィラキシーが出ますよというデータまで含めて考えるんだとすると、もうちょっと時間をいただきたい。それまでにちゃんとしたものをまとめたいと思います。

(感染症対策課担当課長)

ワクチンを接種するという医療に関わる部分でございますので、何よりも安全かつ確実にと、その上で希望される方に無理なく速やかに接種できるような体制を目指してまいりたいと存じます。

<問診の様子>

ーアレルギー

アレルギーお持ちですか？

ーええ、少し。

具体的にどういったものでアレルギー出ますか？

ーハウスダスト、あと猫とかも。

=====

御覧いただいたとおり、本番に近い形で行われました。本当に課題がたくさん出てきました。例えば、医師による問診いわゆる予診と言われるものは、結構思っていた以上に時間かかるなど、そういった目詰まりが起ってくると接種回数がなかなかこなせないということが起きたり、その課題をしっかりと改善して本番に備えていきたいと思っております。それから、これから私たち集団接種だけではなく、それぞれのかかりつけ医のところでやるようないわゆる個別接種ですとか、あるいは高齢者施設などを回っていく巡回接種だとか、いろんな方法をやっていかないと、本当にこれだけ多くの154万市民の方に接種していくということになると、未だかつてないこととなります。いろんな課題がありますけれども、より正確な情報を的確に皆さんにお伝えするよう、これからも努力していきたいと思っております。国の方で正確な情報がまだ自治体に届いていないということもありますので、順次お知らせしていきたいと思っております。もう御案内の方もいらっしゃると思いますが、2月下旬から医療従事者から接種を始めると国の方で言われております。

それから接種の順番ですけれども、医療従事者、次に高齢者、そして高齢者以外の基礎疾患がある方、そして一般の方という順番になっています。なお、妊婦の方ですとかあるいは子どもはどうするのかということは、まだ国の方向で検討しているということなので、これも随時発表していくこととなります。

川崎市ではいったいじゃあ一般的な、あるいは高齢者のワクチン接種いつから始まるの？河野大臣の方で、高齢者の方は4月1日以降に始まると言われておりますけれども、実際にいつから始められるかというのはまだわかっていません。随時情報をお伝えしていきたいと思っております。

接種回数は2回です。一定の間隔をあけてということで、一般的には3週間と言われておりますけれども、これも正確なのがわかり次第お伝えしていきたいと思っております。

そして接種費用は無料となります。

繰り返しになりますが、本当にいまだ私たちが経験したことのない取組になりますので、皆さんの御理解・御協力が不可欠になります。是非そのためにも、私たちも正確な情報をしっかりと発信していきたいと思っております。川崎市のホームページでも随時このワクチンの情報をお伝えしてまいりますので、御参照いただければと思います。

今日は以上です。